

光経済研究所株式会社

東京都中央区日本橋人形町 1-18-9 TEL 03 (3669) 2331(代)

証券投資顧問業登録関東財務局長第 557 号 日本証券投資顧問業協会会員 011-00557 号

平成 14 年 6 月 18 日号

ファンドマネージャー 出来岡 潔

<http://www.hikarikeizai.co.jp>

前回から対等数値という理論についてご説明しています。(6月11日号のレポート参照)。「過去の相場に費やした日柄は今後の相場に強く影響する。」とにかくこの言葉をよく覚えておいて下さい。

では、チャート の 5563 日本電工をご覧下さい。昨年 10 月高値 208 円から今年 1 月安値 151 円、この日柄は 15 週。その今年 1 月安値から 5 月高値 241 円までの日柄も 15 週……。

なぜ今年 1 月安値から 15 週目にピークを打ったかという、これは当然、昨年 10 月高値から今年 1 月安値までの 15 週という日柄が影響している訳です。こうした理論が対等数値なのです。

今のは、前回の 1 波動と今回の 1 波動が対等になったケースです。

今度は、チャート の 3407 旭化成をご覧下さい。これは、前回の 2 波動の合計と今回の 2 波動の合計が対等になったケースです……。

対等数値には、まだまだ他にも幾つものパターンがあります!!

次回に続きます。

(無料レフォンカピス) やさしいチャート教室 03 - 3669 - 5552



Alpha Chart 社

このレポートは投資の判断となる情報の提供を目的としたものです。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。